«2022年3月期»

# 決　算　説　明　会

2022年5月18日

# エレマテック株式会社

東京証券取引所　プライム市場　　CODE：2715

URL：http://www.elematec.com

ＩＲ問い合わせ先　：　経営企画・人財開発部　　E-mail: IR-info@elematec.com　　TEL:　03-3454-3526

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2022年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

# 決　算　報　告

# ２　０　２　２　年　３　月　期

# 2022年3月期　連結損益計算書



## 決算ハイライト

**営業利益、経常利益及び当期純利益は過去最高を更新**

| 単位：百万円 | 21/3期 (USD=106.10円) | 22/3期 (USD=112.39円) | 前期比 | 増減要因 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 180,218 | *200,646 | +11.3% | 自動車向け関連部材、ゲーム機向け関連部材等の販売増加に伴う増収 |
| 売上総利益 | 17,437 | 21,560 | +23.6% | 増収に伴う増益 |
| 売上総利益率 | 9.7% | 10.7% | +1.0pt | |
| 販売管理費 | 11,974 | 13,214 | +10.4% | 人件費、荷造運賃等の増加 |
| 営業利益 | 5,463 | 8,346 | +52.8% | |
| 経常利益 | 5,179 | 7,867 | +51.9% | |
| 当期純利益 | 3,666 | 5,374 | +46.6% | |
| ROE | 7.0% | 9.4% | — | |
| EPS | 89.55円 | 131.25円 | — | |
| 1株当たり配当金 | 36円 | 53円 | — | |

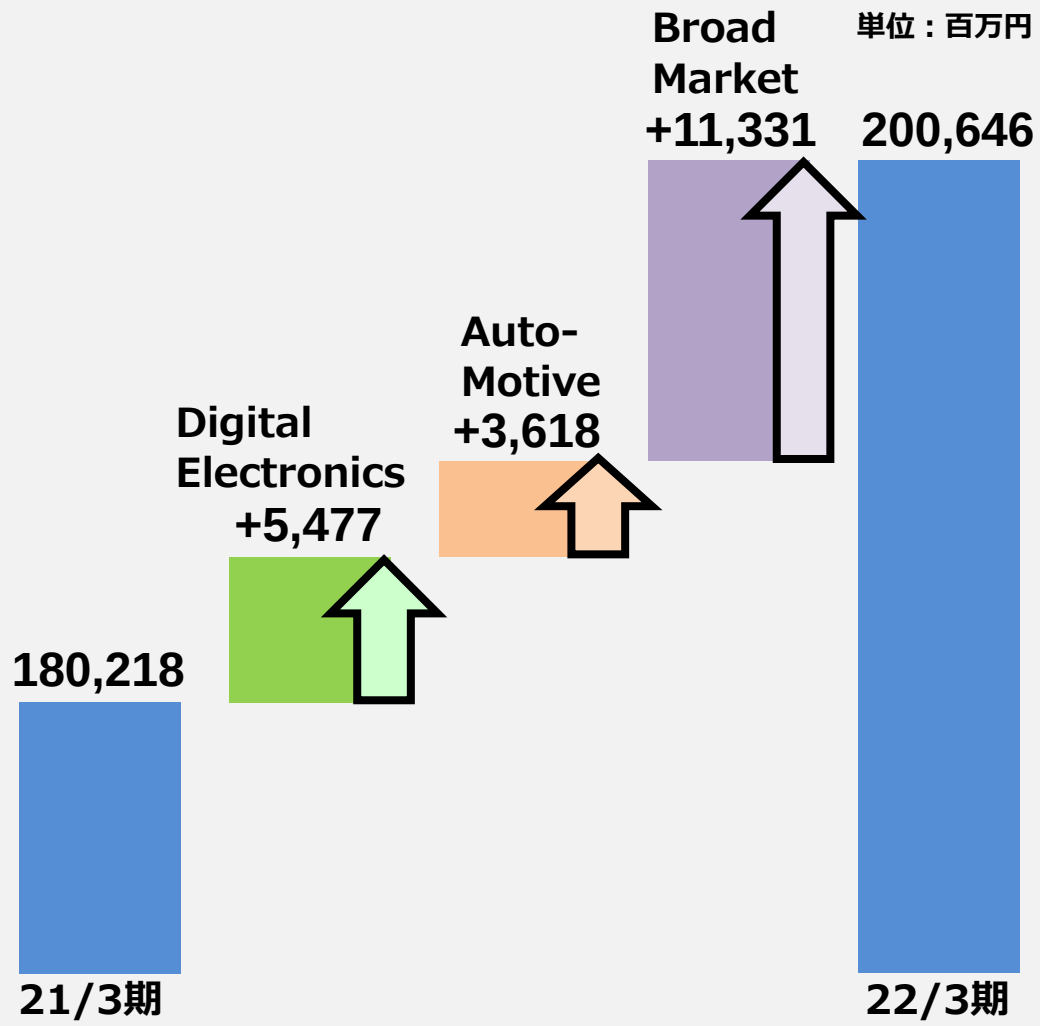
*収益認識影響：売上高▲10,467百万円

# マーケット別売上増減要因



Point
- Digital Electronics：ゲーム機及び電子部品関連部材の販売が増加
- Automotive：コックピットモジュール等の自動車関連部材の販売が増加
- Broad Market：ドライブレコーダー等のアフターマーケット向け製品、医療機器関連部材等の販売が増加

## 前期比　売上高増減内訳




**主な増減要因**

＊［］内は今期収益認識基準適用による影響額

### Digital Electronics

【前期比】＋5,477百万円［▲5,571百万円］
＋6.8%(80,484百万円⇒85,961百万円)

液晶、タッチパネル、バックライト
＋3,777百万円［▲10百万円］

電気・電子部品、半導体
＋2,678百万円［▲3,033百万円］

### Automotive

【前期比】＋3,618百万円［▲107百万円］
＋14.8%(24,484百万円⇒28,103百万円)

### Broad Market

【前期比】＋11,331百万円［▲4,788百万円］
＋15.1%(75,249百万円⇒86,581百万円)

アフターマーケット
＋4,279百万円［▲0百万円］

医療機器
＋2,067百万円［▲1,029百万円］

# 販売費及び一般管理費の状況



| 単位：百万円 | 21/3期 | 22/3期 | 増減額 | 増減要因 |
|---|---|---|---|---|
| 人件費 | 6,582 | **7,220** | +638 | ・業績連動賞与の増加<br>・昇給、昇格等による増加 |
| 荷造運賃 | 2,178 | **2,462** | +283 | 増収に伴う増加 |
| その他 | 3,212 | **3,531** | +318 | ・出張再開による旅費交通費等の増加<br>・租税公課の増加　等 |
| 販売管理費 | 11,974 | **13,214** | +1,240 | 売上高販管費率<br>6.6% ⇒ 6.6% |

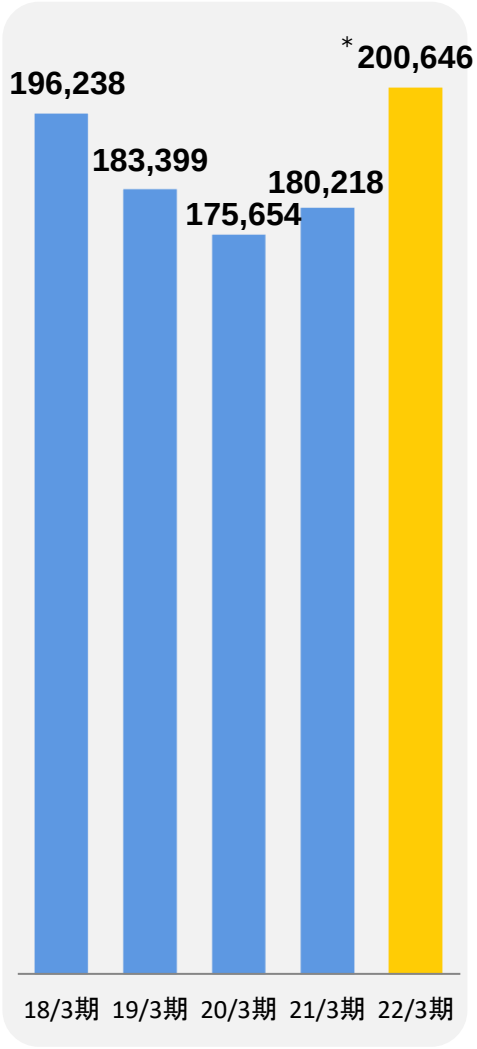
# 業績の推移

**自動車向け関連部材の販売増等により前期比で増収増益**
**営業利益、経常利益及び当期純利益は過去最高を更新**

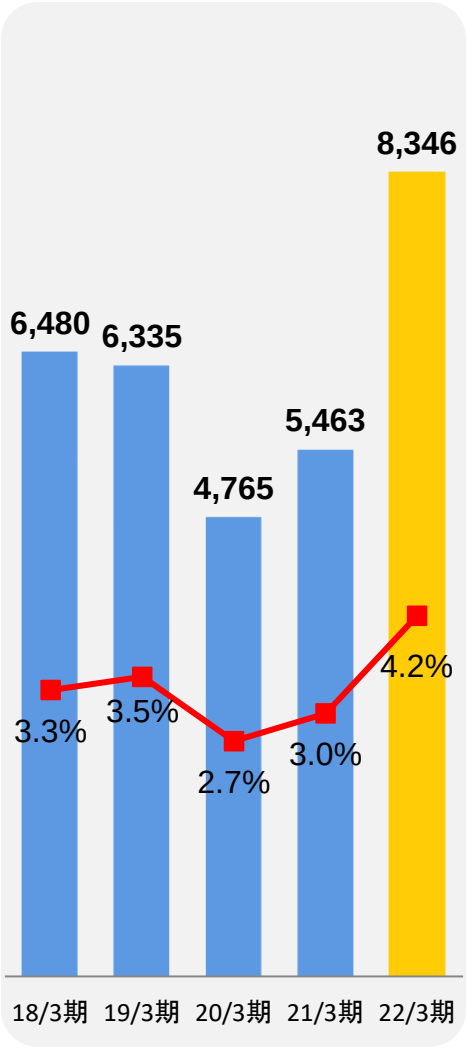


単位：百万円

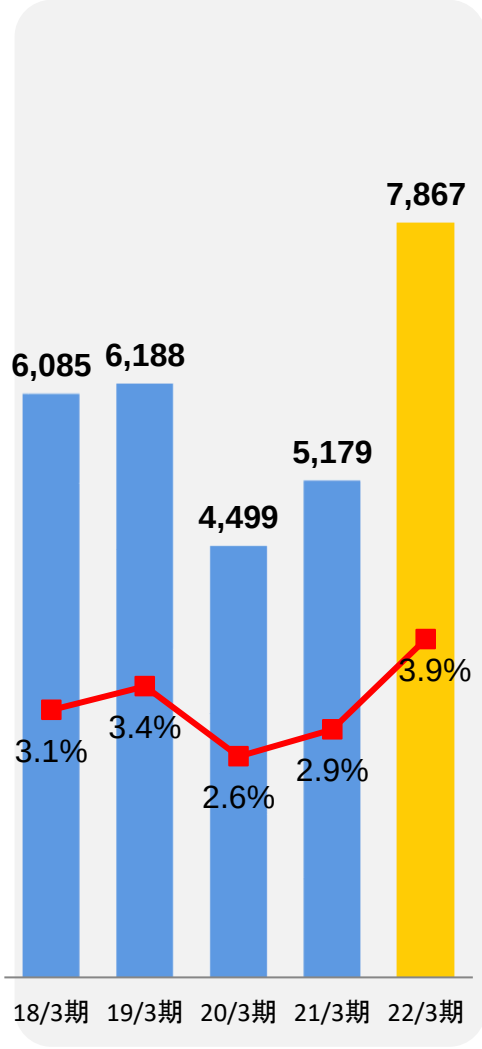
## 連結売上高　推移



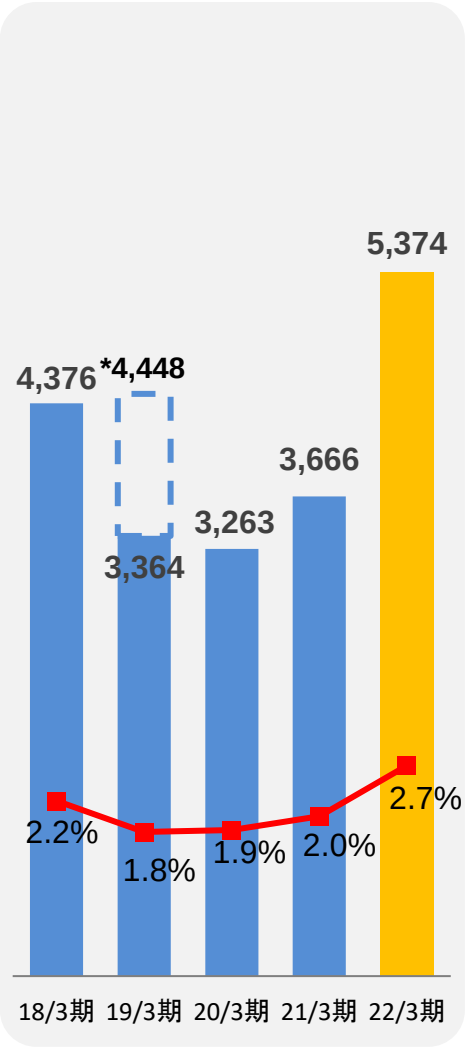

## 連結営業利益　推移




## 連結経常利益　推移




## 連結純利益　推移




*収益認識影響：売上高▲10,467百万円

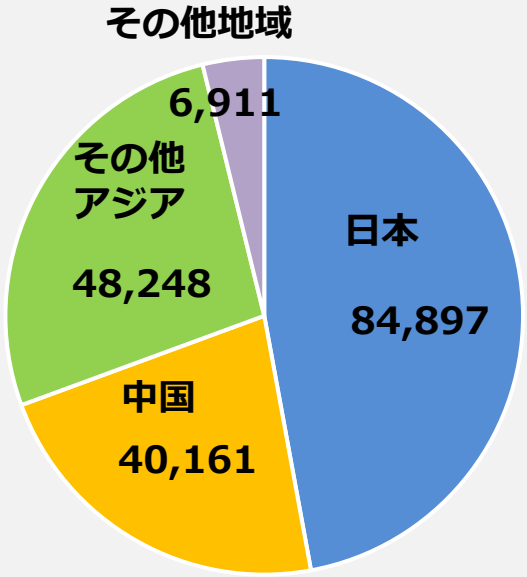
＊特殊要因(繰延税金負債)影響を排除した純利益

# 国内・海外売上高



**Point**
- 国内：ドライブレコーダー、医療機器関連部材等の販売増加により増収
- 海外：中国はゲーム機及び電子部品関連部材の販売増加により増収
  その他アジアはスマートフォン関連部材の販売減少により減収

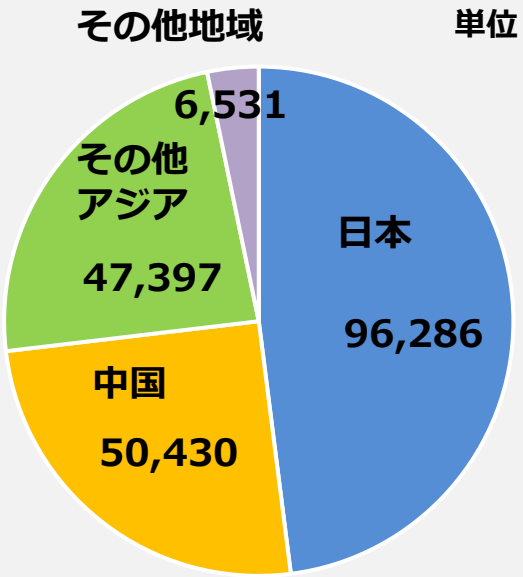
## 2021年3月期




| 2021/3月期 | 売上構成比 |
|---|---|
| 国内 | 47.1% |
| 海外 | 52.9% |
| 中国 | 22.3% |
| その他アジア | 26.8% |
| その他地域 | 3.8% |

## 2022年3月期

単位：百万円




| 2022/3月期 | 売上構成比 |
|---|---|
| 国内 | 48.0% |
| 海外 | 52.0% |
| 中国 | 25.1% |
| その他アジア | 23.6% |
| その他地域 | 3.3% |

# 連結貸借対照表

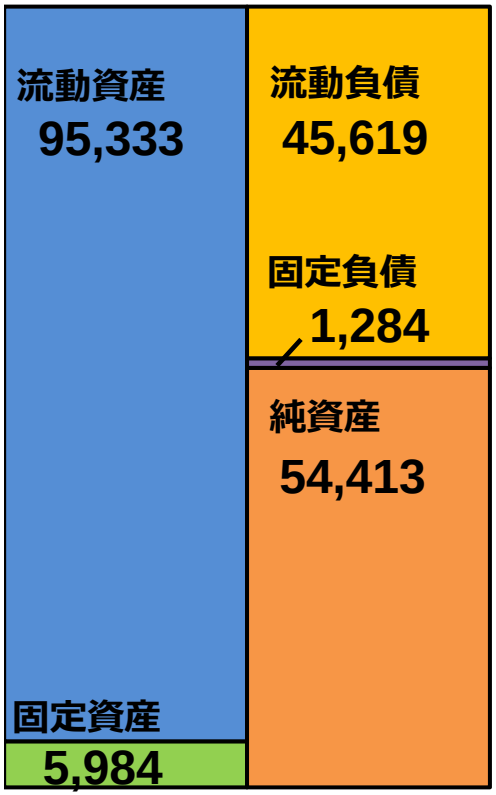


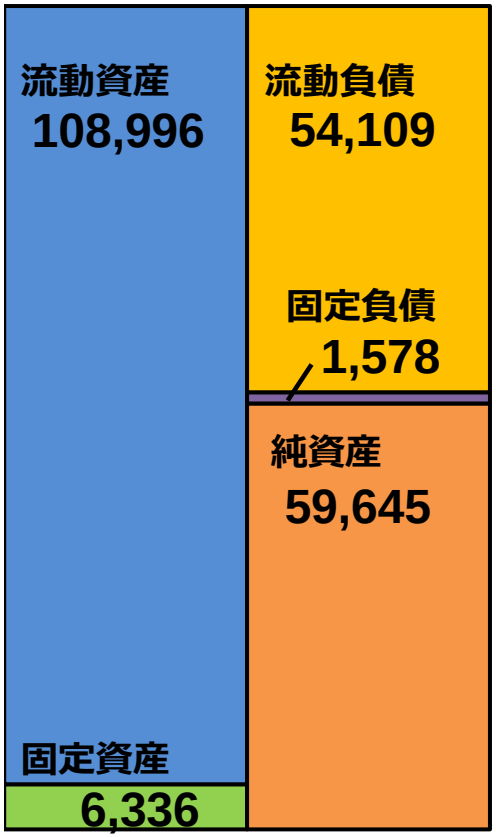
**Point　自己資本比率は、50%超を維持**

## バランスシート

単位：百万円

| | 2021年3月期 | 2022年3月期 |
|---|---|---|
| 総資産 | 101,317 | 115,332 |
| 自己資本比率 | 53.7% | 51.7% |




## 主な増減要因

| | |
|---|---|
| **流動資産** | **＋13,663** |
| ●受取手形・売掛金 | ＋6,546 |
| ●棚卸資産 | ＋4,091 |
| ●現預金 | ＋2,875 |
| **固定資産** | **＋352** |
| ●繰延税金資産 | ＋295 |
| **負債** | **＋8,783** |
| ●支払手形・買掛金 | ＋6,272 |
| ●未払法人税等 | ＋578 |
| ●短期借入金 | ＋265 |
| **純資産** | **＋5,231** |
| ●利益剰余金 | ＋3,736 |
| ●為替換算調整勘定 | ＋1,511 |

# 連結キャッシュ・フロー計算書



## キャッシュフロー

| 単位：百万円 | 21/3期 | 22/3期 |
|---|---|---|
| 営業C/F | 6,104 | **4,236** |
| 投資C/F | ▲747 | **▲599** |
| 財務C/F | ▲1,264 | **▲1,710** |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 397 | **948** |
| 現金及び現金同等物の増減 | 4,490 | **2,875** |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 27,877 | **30,753** |

### 主な増減要因

**営業CF**

- ●税金等調整前当期純利益 ＋7,660
- ●売上債権の増加 ▲4,305
- ●棚卸資産の増加 ▲3,217
- ●仕入債務の増加 ＋3,686
- ●法人税等の支払額 ▲1,658

**投資CF**

- ●有形固定資産の取得（工具器具備品等） ▲693

**財務CF**

- ●配当金の支払額 ▲1,637
- ●リース債務の返済 ▲302

# 通　期　業　績　予　想

# ２　０　２　３　年　３　月　期

# 連結業績予想



**EV対応商材の拡充等による自動車関連ビジネス及び**
**完成品(ODM)ビジネスの強化を中心に増収増益**

| 単位：百万円 | 22/3期 | 23/3期 | 増減<br>(22/3期vs.23/3期) |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 200,646 | **225,500** | +12.4% |
| 営業利益 | 8,346 | **8,950** | +7.2% |
| 経常利益 | 7,867 | **8,650** | +9.9% |
| 当期純利益 | 5,374 | **6,050** | +12.6% |
| EPS | **131.25円** | **147.75円** | ― |
| ROE | **9.4%** | **10.3%** | ― |

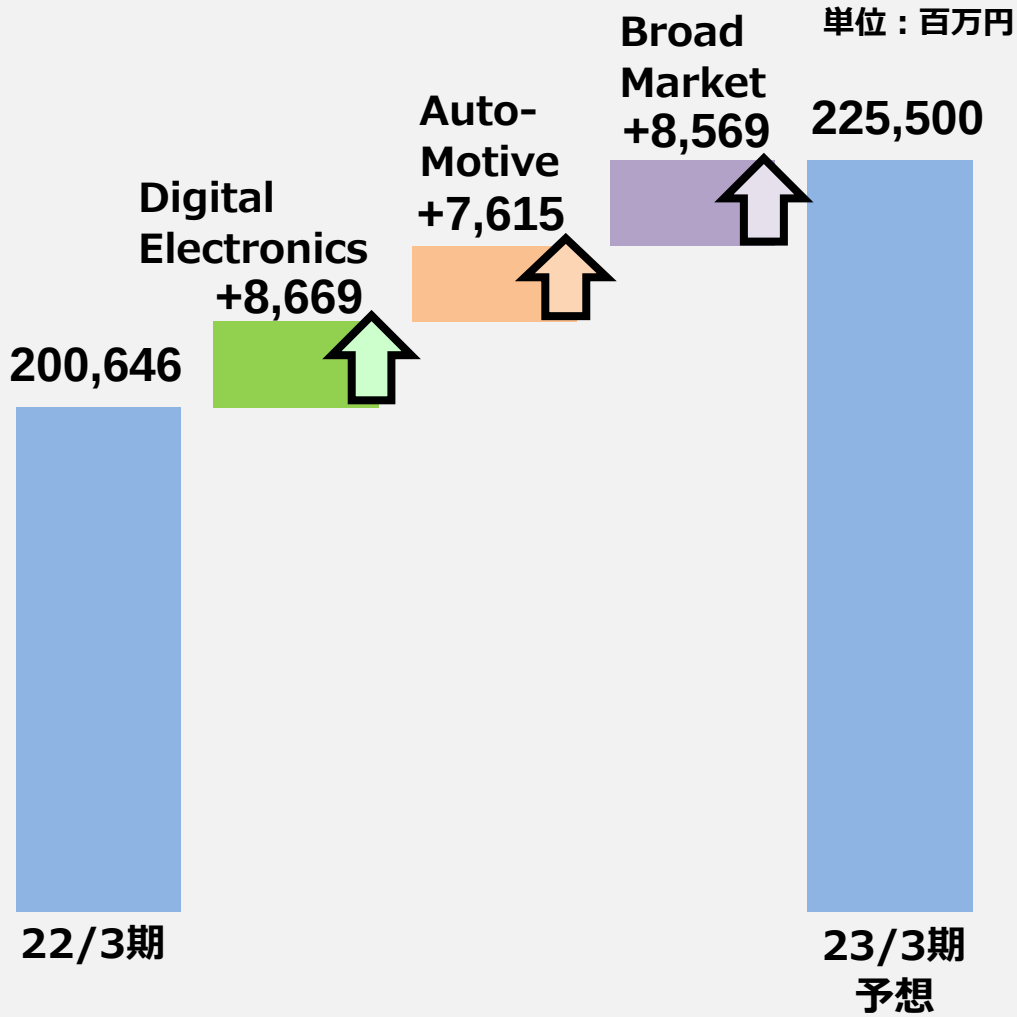
23/3期連結業績予想　前提為替レート　USD=　115　円

# 連結業績予想　マーケット別売上増減要因



**Point**
- Automotive：EV対応商材の拡充等により前期比+27.1%の見込み
- Broad Market：ドライブレコーダー等のアフターマーケット向け製品を中心に前期比+9.9%の見込み

## 前期比　売上高増減内訳




## Digital Electronics

【前期比】+8,669百万円(＋10.1%)
(85,961百万円 ⇒ 94,631百万円)

| | |
|---|---|
| 液晶、TP・BL | +4,434百万円 |
| 電気・電子部品、半導体 | +3,578百万円 |
| TOY、ホビー | +1,626百万円 |

＊TP・BL＝タッチパネル・バックライト

## Automotive

【前期比】+7,615百万円(+27.1%)
(28,103百万円 ⇒ 35,718百万円)

## Broad Market

【前期比】+8,569百万円(+9.9%)
(86,581百万円 ⇒ 95,150百万円)

| | |
|---|---|
| アフターマーケット | +8,037百万円 |
| 白物家電 | +1,189百万円 |
| モーター | +1,152百万円 |

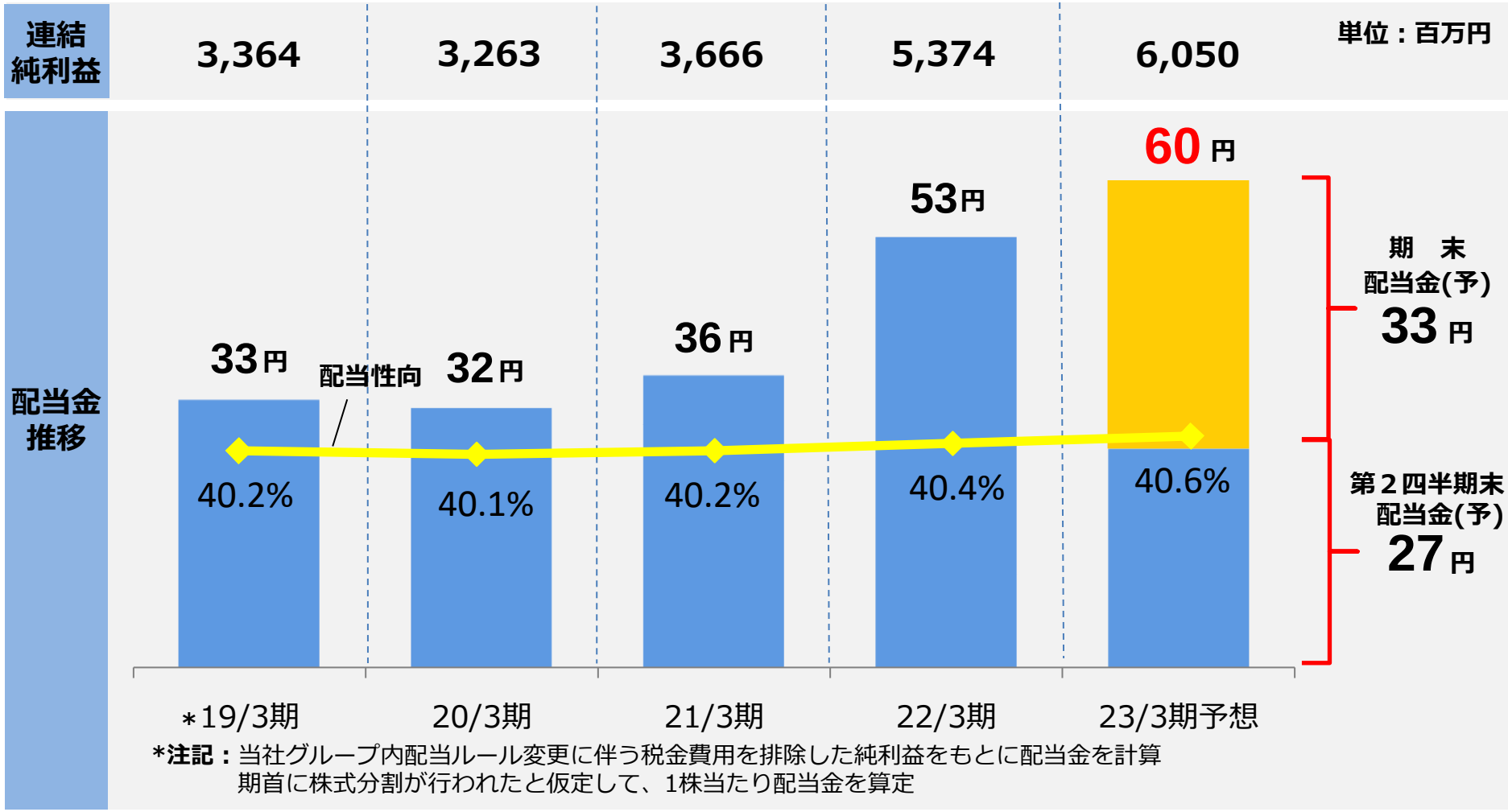
# 配当方針及び配当予想



配当性向 ： **40%以上**

1株当たり年間配当金： **60円**（上場来最高値）

## 1株当たり年間配当金　推移※株式分割後(2019年6月1日を効力発生日として株式分割を実施(1株につき2株))




***注記**：当社グループ内配当ルール変更に伴う税金費用を排除した純利益をもとに配当金を計算
期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当金を算定

# 中 期 経 営 戦 略 (2021年3月期～2023年3月期)

# エレマテック NEXT

## 2023年3月期の取り組み

１．高付加価値型ビジネス

２．海外有力顧客の開拓

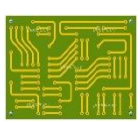
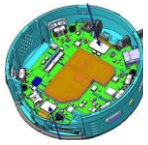
３．自動車ビジネスの拡充

## 高付加価値型ビジネス

# 変化するビジネスモデル

## -部材販売からシステム含む完成品販売へ-

部材販売 → モジュール品販売 → 完成品販売 → 完成品販売（システム込）

### 求められる役割

**ワンストップソリューション**
（企画・開発から納品までを一元管理）

企画 開発 ➤ 仕入 ➤ 加工 ➤ 物流 ➤ 納品

技術部　環境・品質保証部
営業部・開発部

**ODMチームによるサポート体制**

モジュール品＋カスタマイズ品比率 ▶ 60% 超

## 高付加価値型ビジネス

# 完成品(ODM)ビジネスの進捗状況

### ODMチームサポート体制

**顧客基盤**

得意先約6,200社
仕入先約7,200社

**品質マネジメント**

国内・海外双方に
品質管理部門設置

**提案力**

企画・設計から量産
までを一元管理

### 量産実績

- ドライブレコーダー
- ウェアラブル活動量計
- コーヒーメーカー
- 布団乾燥機
- 駐車管理センサー
- USBケーブル
- 車載タブレット
- スティックPC
- モバイルバッテリー
- LEDランタン　等

### 提案中

- ウェアラブル機器
- テレビ用リモコン
- 電源スタンド　等

## 高付加価値型ビジネス

# 環境対応型商材の拡充

**2022年4月　プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行**

## バイオプラスチック

**バイオマス**
（原料に植物等再生可能な有機資源を使用）

**生分解性**
（微生物等の動きで二酸化炭素と水に分解）

**樹脂ペレット**
（PPに紙等を混合）

**フィルム**
（土壌・堆肥で分解可能）

**添加剤**
（PP・PE等の樹脂に混ぜバイオマス度を向上/生分解性を付与）

## プラスチック代替素材

**パルプモールド**
（竹・サトウキビを原料とした包装資材）

**異種材料成形品**
（紙・もみ殻等の廃材や天然素材を樹脂に配合）

**法令に準拠する商材を提案し「脱プラ・減プラ」に貢献**

１．高付加価値型ビジネス

**２．海外有力顧客の開拓**

３．自動車ビジネスの拡充

## 海外有力顧客の開拓

# フォルダブルスマートフォン向けビジネスの強化

※フォルダブルスマートフォン…折りたたみ式スマートフォン

■韓国系メーカーのけん引によりフォルダブルスマートフォンが台頭
■米大手企業の参入計画により主流化・市場規模の拡大が見込まれる

## 中国系・米系有力顧客を攻略

### 前面

**日本製商材を中心にPR**

・**OCA/OCR**
（光学透明粘着シート/光学透明樹脂）

・**フィルム**
（OLED表示面保護フィルム等）

### 背面加飾

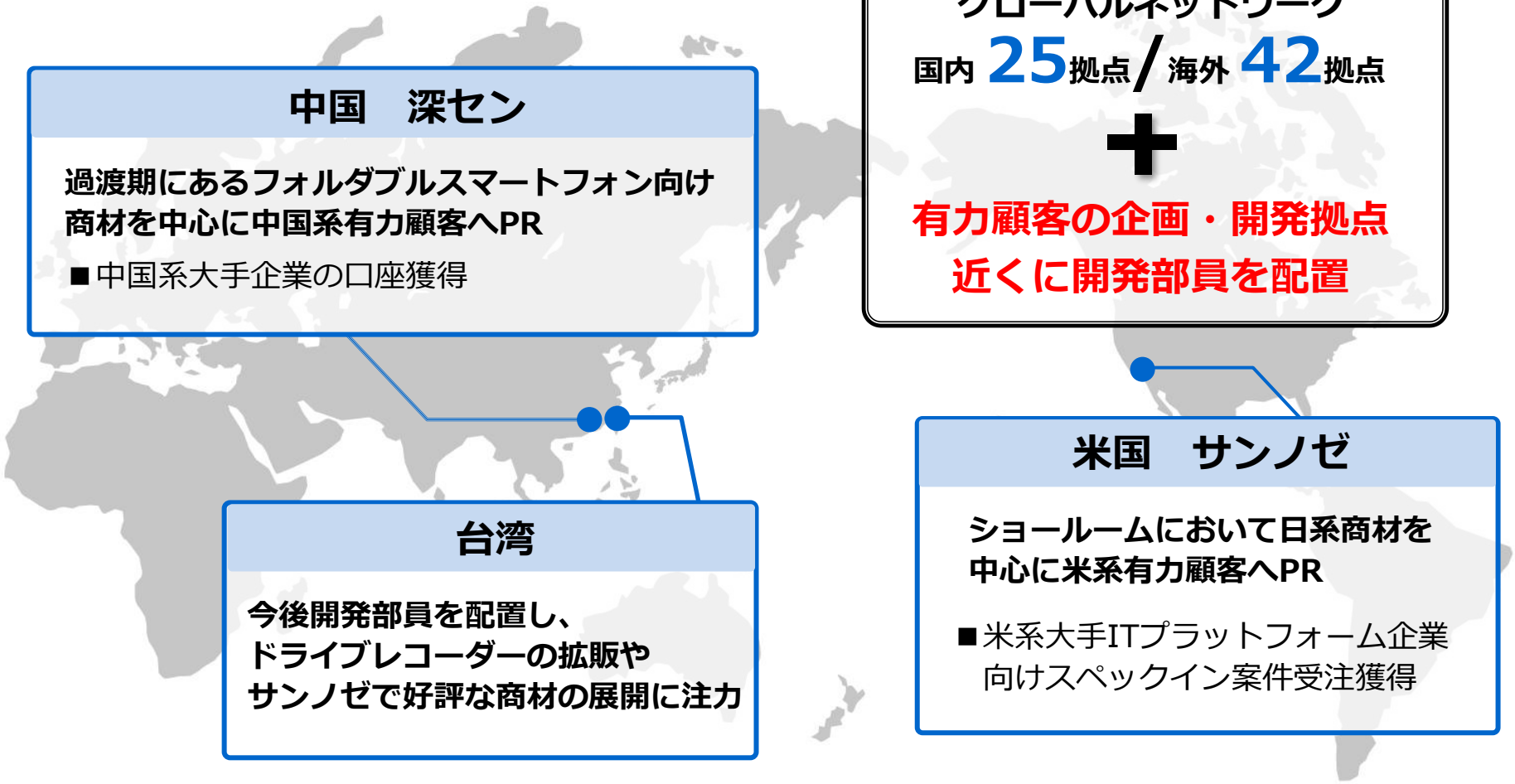
**日系メーカー×中国系メーカー協業提案**

・**有機EL発光モジュール**

・**特殊エッチングガラス**

## 海外有力顧客の開拓

# 刺さる商材の提案強化



**グローバルネットワーク**
**国内 25拠点 / 海外 42拠点**
**＋**
**有力顧客の企画・開発拠点**
**近くに開発部員を配置**

### 中国　深セン

**過渡期にあるフォルダブルスマートフォン向け商材を中心に中国系有力顧客へPR**

■中国系大手企業の口座獲得

### 台湾

**今後開発部員を配置し、ドライブレコーダーの拡販やサンノゼで好評な商材の展開に注力**

### 米国　サンノゼ

**ショールームにおいて日系商材を中心に米系有力顧客へPR**

■米系大手ITプラットフォーム企業向けスペックイン案件受注獲得

１．高付加価値型ビジネス

２．海外有力顧客の開拓

**３．自動車ビジネスの拡充**

## 自動車ビジネスの拡充

# 自動車のモジュールビジネス拡大

**自社工場活用**

### スマートミラー用ガラスASSY

・中国無錫工場のガラス/フィルム貼合工程の活用
・中国系メーカーのガラス商材を発掘・提案しコストダウンに貢献

**EV関連**

### 輻射熱ヒーターASSY

・電気容量の不足を防ぐため「新しい/安全なヒーターシステム」の搭載が進む
・技術部との連携により、ロボットを用いた製造及び検査工程の自動化を提案

**バッテリーユニット**

### 耐火シートASSY

・バッテリーの発火・延焼対策として需要が拡大
・国内外の不燃材料を用い、関連工場でアッセンブリを行い客先へ納入

## 自動車ビジネスの拡充

# 海外OEM/Tier１の攻略

## 欧州展示会への参加

### 2021年展示品

**自社工場活用**

- **スマートミラー用ガラスASSY**
  （スマートミラー用ガラスへのフィルム貼合）
- **メーター液晶ボンディング**
  （液晶メーター/前面板への透明樹脂貼合）
- **HUD部材**
  （熱対策、軽量化部材）

×

**日系有力商材**

- **加飾部品（光透過フィルム）**
- **3D映像デモ機**
- **温調カップホルダー**

**欧州Tier1とのNDA締結完了、見積依頼書を受領**

**HUD部材を中心に海外OEM/Tier1からの受注拡大を狙う**

## サステナビリティ基本方針

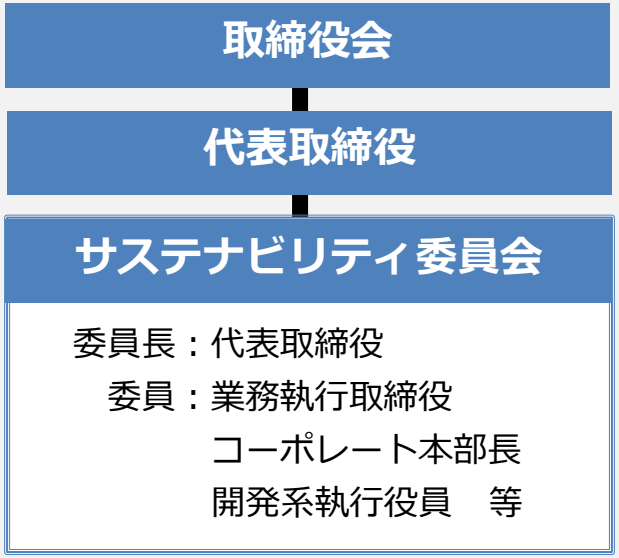
エレマテックグループは世界のモノ作りパートナーとして、「良いつながりを広げ新たな価値を提供する」という経営理念のもと、地球環境に配慮したビジネスの展開及び社会課題への取り組みを、リスク対応と同時に重要な事業機会であると捉え、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献し、企業価値の向上を目指してまいります。

## 推進体制

2022年4月
**サステナビリティ委員会設置**

▼

委員会の直下に**ワーキンググループ**を設置し、全社横断的な施策の検討・立案及び取り組みを推進予定



# サステナビリティへの取り組み



## ■重要課題（マテリアリティ）と取り組み施策

### 安心安全な社会の実現

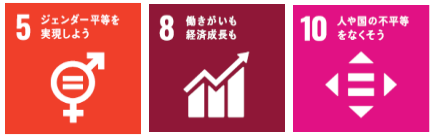
- **交通事故のない社会の実現**
  - ドライブレコーダーの企画開発及び部材の拡販
- **適切な医療環境の整備**
  - 医療機器部材の納入

### 環境負荷の低減と循環型社会の実現

- **環境に配慮した部材の納入**
  - 植物由来原料を使用した梱包材の納入
- **クリーンエネルギー関連の部材の納入**
  - PHEV・EV車向け部材の納入
- **リサイクル活動の推進**
- **品質、環境マネジメントシステムの実践**

### 多様性を尊重し、成長し合う組織づくり

- **人権の尊重**
- **D&Iの推進**
- **研修制度の拡充**
- **働き方改革**



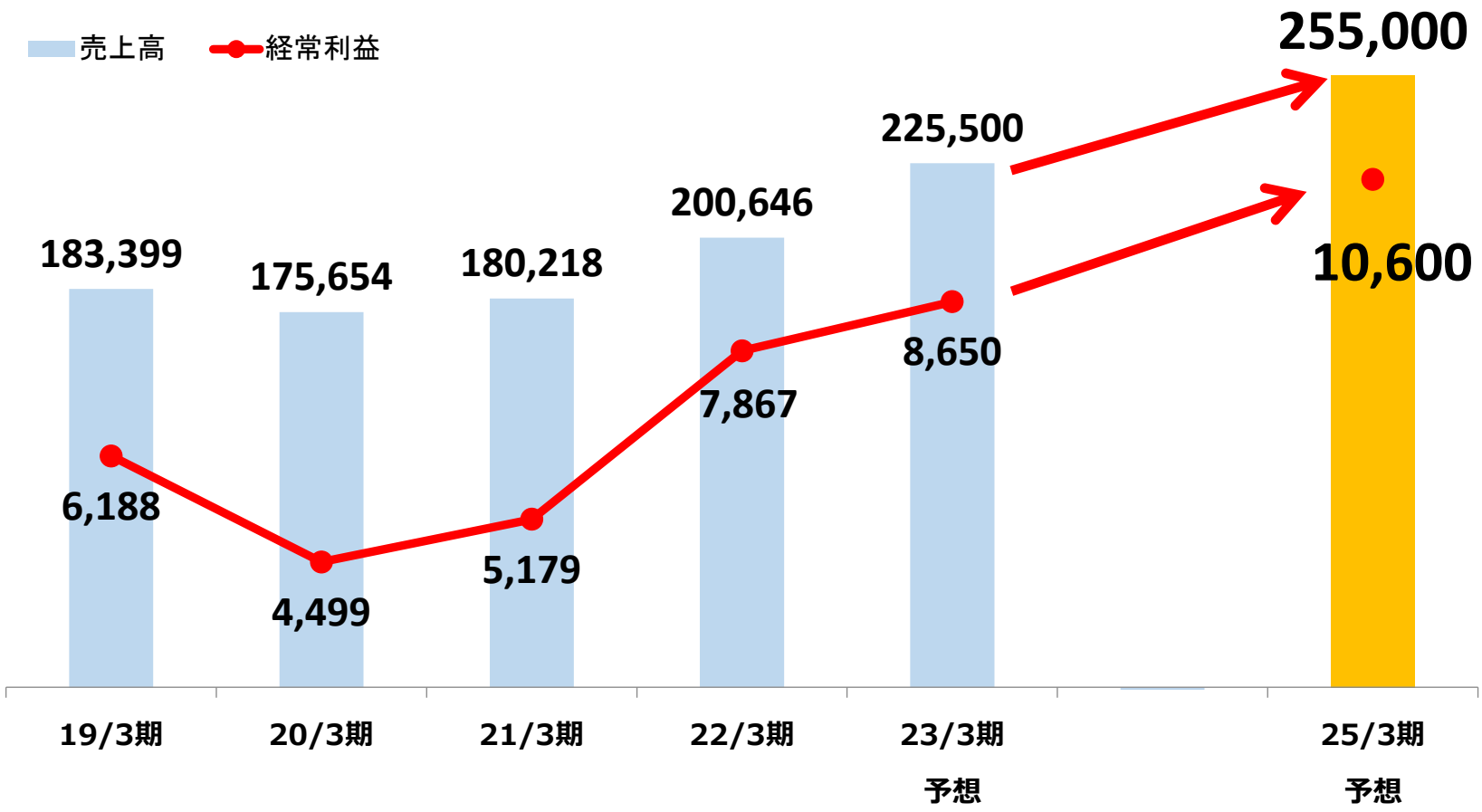

### 全てのステークホルダーから信頼されるガバナンス体制の構築

- **ガバナンス体制及びコンプライアンス体制の整備、強化**

# 売上・利益推移(予想)

**高付加価値型ビジネスの強化により、経常利益100億円台を目指す**

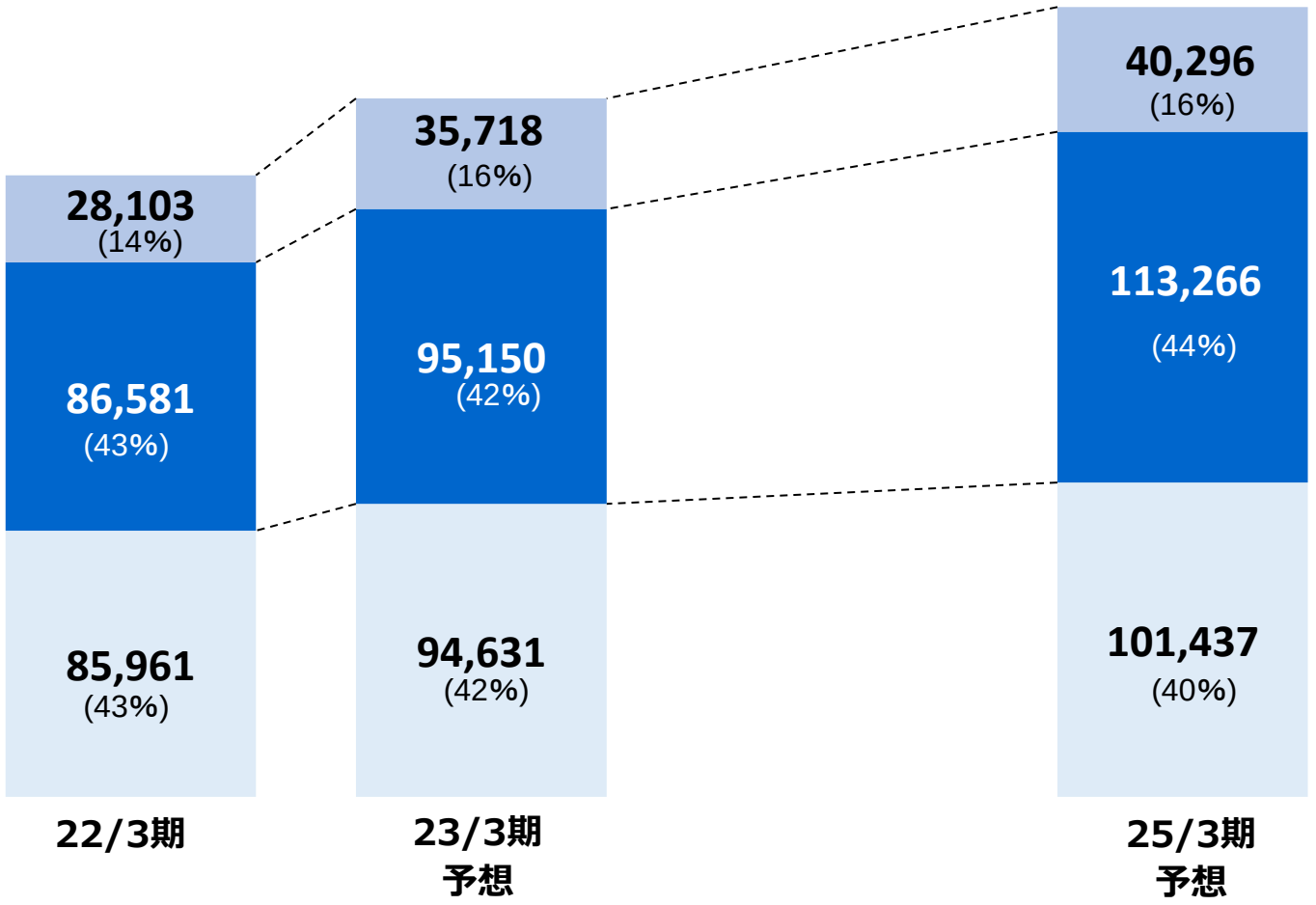
単位：百万円




*22/3期より収益認識基準を適用

# 連結業績予想(マーケット別)

## 完成品(ODM)ビジネス及び自動車関連ビジネスの成長を中心に更なる拡大を図る




23年3月比
Automotive
**+13%**

23年3月比
Broad Market
**+19%**

23年3月比
Digital Electronics
+7%

# 本日は長時間にわたりご静聴戴き、
# まことにありがとうございました。

エレマテック株式会社
Elematec Corporation

# 補足資料

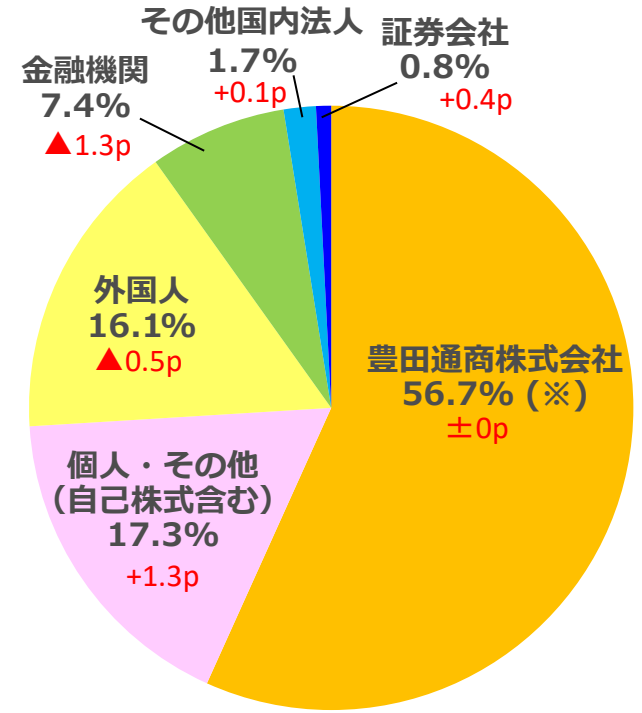
# 会社概要

※下記の各データは、注記を除き2022年3月31日現在



| | |
|---|---|
| 商号 | エレマテック株式会社　（英訳名　Elematec Corporation） |
| 設立 | 1947年4月　（創立　1945年11月） |
| 上場 | 東証プライム ※2022年4月4日 市場区分再編に伴い東証一部から移行<br>（東証一部：2005年3月、東証2部：2003年12月、ＪＡＳＤＡＱ：2002年6月） |
| 所在地 | 東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館19階 |
| 代表者 | 代表取締役社長　横出（よこで）　彰（あきら） |
| 事業内容 | エレクトロニクス専門商社 |
| 従業員 | 【連結】 1,165名<br>【単体】 479名 |
| 営業拠点 | 【国内販売拠点24ヶ所】※2022年4月1日現在<br>本社・本店・17支店・5営業所<br>【海外販売拠点40ヶ所】※2022年4月1日現在<br>中国 17拠点、その他アジア 16拠点<br>北中米 5拠点、欧州 2拠点 |
| 資本金 | 2,142百万円 |
| 発行済株式数 | 42,304千株 |
| 株主数 | 3,884名 |

**所有者分布状況**（2022年3月31日現在）




（※）自己株式を除いた
議決権比率では58.6%

赤文字は、21/3末比の数字